

黒田裕樹研究会 自由記述

一卵性双生児の発生率は 1/250 でほぼ一定(観測事実)

ゲノム解析

生命科学の進化

分子生物学

研究テーマ: 受精卵多胚化の機序の発生生物学的解明

特徴①

発生生物学的
アプローチ

特徴②

卓越した
胚操作技術

特徴③

アフリカツメガエル
によるWet研究

SFC黒田裕樹研究会への入会を希望